

令和3年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市浦和駒場体育館
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市浦和区駒場2-5-6</p> <p>②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。</p> <p>③施設の概要 昭和49年7月1日開館 敷地面積 14,050㎡ 建物面積 7,668㎡ 競技場、第1体育室、第2体育室、柔・剣道場、弓道場、卓球場、トレーニング室、会議室、テニスコート(3面) 他</p>
(3)指定管理者	埼玉シミズ・浦和スポーツクラブ JV
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成30年4月1日～令和5年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度:83,020千円、令和2年度:71,112千円、令和3年度:84,311千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況(括弧内は前年度の数値) 【利用件数】 51,200件(1,751件) 【利用人数】 206,200人(7,641人) 【利用率】競技場:91.6%(96.7%)、第1体育室:82.6%(72.8%)、第2体育室:95.4%(98.3%)、柔道場:64.3%(43.3%)、剣道場:70.7%(55.8%)、卓球場:52.5%(38.8%)、テニスコート:97.7%(98.2%)会議室:28.4%(25.0%)</p> <p>◇業務実施状況 ・利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可) ・公共施設予約システムによる貸出し管理 ・事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など)</p> <p>②維持管理業務の状況 ・施設管理業務(清掃等) 毎日 ・消防設備保守点検業務 年2回 ・非常発電装置保守点検業務 年2回 ・自家用電気工作物保守管理業務 年6回 ・事業系一般廃棄物収集運搬処理業務 週2回 ・産業廃棄物収集運搬処理業務 実施無し ・機械警備業務 毎日 ・建築設備定期検査業務 年1回 ・建築物定期調査業務 年1回 ・体育器具保守点検業務 年2回 等</p>

	<p>③その他の業務 スポーツ教室(シニア筋トレ教室、ピラティス、バスケットボール教室、ゆったりストレッチ、バレエとストレッチ、シェイプボクシング、テニス教室等)の開催</p>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入 17,097千円 (前年度 575千円) ・指定管理料 84,311千円 (前年度 71,112千円) ・その他収入 117千円 (前年度 0千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 38,472千円 (前年度 28,157千円) ・事務費 11,607千円 (前年度 9,861千円) ・施設管理費 51,390千円 (前年度 33,141千円) <p>【自主事業】</p> <p>①収入 4,999千円 (前年度 113千円)</p> <p>②支出 5,054千円 (前年度 641千円)</p>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>12月に実施した利用者アンケートにおいて、興行時も施設を利用できるようにしてほしいとの要望があり、主催者と協議の上、施設を一部利用できるようにした。 投書箱を設け随時対応している。要望については、指定管理者にて対応可能な内容については実施している。</p>
(8)その他	<p>新型コロナウイルス感染対策のためスリッパの利用を中止していたが、利用者から要望があり、スリッパ用の除菌ロッカーを設置しスリッパの利用を再開した。 トレーニング室初心者講習会の時間を短縮してほしいとの要望があったため、他の体育館との標準化を図ることとし、講習会を簡略化した。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
自主事業を休館前の規模に戻し、可能であれば新規教室を実施する。	中規模修繕工事による休館で実施することが出来なかったすべての教室について開館後に再開した。また、新規事業として「バレエとストレッチ教室」を実施した。
月4回実施しているトレーニング講習会の実施回数を増やす。	年間を通して講習会を62回実施し、トレーニング室の利用を促進した。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

<p>【地域の多様な団体と連携し、健康寿命の延伸・障がい者スポーツの支援等に取り組む】</p> <ul style="list-style-type: none">・構成団体である浦和スポーツクラブと共に地域の多様な団体と連携し、『みんなのスポーツ体験会』を開催した。体験会では、車いすバスケットボールやボッチャの体験、栄養相談、健康相談などを実施し、多種多様な市民へスポーツに親しむ機会を提供した。
<p>【『ささえる』スポーツの実現に向けて、新たな事業を実施する】</p> <ul style="list-style-type: none">・浦和スポーツクラブと協働し、「子ども応援プロジェクト」を実施した。親子や未就学児、小学生向けのプログラムを設けて、個人が気軽に参加できる事業を実施した。
<p>【経費の削減】</p> <ul style="list-style-type: none">・施設利用のない時間については競技場等の照明消灯を実施した。・備品等の購入にあたっては、その都度複数の見積を取るよう徹底した。
<p>【適正な管理運営の確保】</p> <ul style="list-style-type: none">・さいたま市公共施設予約システムにより適正に運営管理した。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

<p>総合評価 (B) ※A~D</p> <p>1 項目別の評価</p> <p>【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none">・地域のスポーツ団体と連携し様々な市民がスポーツに親しむ機会を作り出し、スポーツ・レクリエーションの振興に寄与した。・トレーニング室初心者講習会時間の簡略化を行い、トレーニング室の利便性の向上を図った。
<p>【経費の削減】</p> <ul style="list-style-type: none">・円滑で無駄のない予算執行を心がけ、節電努力により電気料金削減に努めた。
<p>【適正な管理運営の確保】</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、また、協定書に従って業務を適切に履行し、施設点検等を行った。
<p>2 総合評価</p> <ul style="list-style-type: none">・当施設での指定管理者経験(平成22から29年度まで)を生かし、適正な施設管理が行われた。・利用者モニタリングから得た意見や要望を元に、除菌スリッパボックスを設置するなど、課題の把握と改善に努めた。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none">・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上・利用者アンケートを踏まえた利用者の満足度の向上・危機管理体制の再確認・情報セキュリティ体制の再確認
